

令和5年度高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議
高梁部会研修会

日時 令和5年12月7日(木) 13:30~15:00

会場：高梁市有漢地域局

方法：対面 参加者：24名

共催：高梁市地域包括支援センター

テーマ：「認知症に優しい地域を目指して～私たちに出来ること～」

今回の研修会は有漢地域にエリアを絞り、認知症サポーター養成講座を受講された愛育委員や栄養委員、民生委員の方たちを対象として対面での集合研修にて実施しました。

当日の進行は以下のように行いました。

- ・全体の司会進行 高梁市有漢地域局 保健師 高野氏
- ・開会挨拶 認知症疾患医療センター 児玉センター長
- ・研修

事例1 「徘徊している？ 気になる人に声をかけるには？」

認知症疾患医療センター 児玉センター長

事例2 「近所の人や家族が認知症になっているみたい。その時あなたは？」

さきがけホスピタル 精神保健福祉士 妹尾

まとめ 認知症疾患医療センター 児玉センター長

- ・お知らせ 高梁市地域包括支援センター 片山氏
- ・閉会挨拶 高梁市地域包括支援センター 所長 内岡氏

研修では、事例として『①見慣れない高齢の方を道端で見かけたとき』『②物忘れの増えた家族がいる近所の方と話しをするとき』の2パターンの動画(※)を用い、各6~7名計5つのグループに分かれてのグループワークを行いました。①については「(声かけは)なかなか難しいと思う」「知った人なら声をかけられそう」と、心配になっても一歩踏み出すことへのハードルの高さや、誰かと一緒なら出来そうといった意見が聞かれました。②では「自分なら周りの人に知ってもらっていると安心できると思う」「家族のことを抱え込むのは大変。教えてもらっていたら、協力出来るかもしれない」と、近所の方が孤立しないような関わりについてや、逆に自分がその立場であったらどうか、感じたことを話し合いました。

テーマとして「認知症に優しい地域を目指して～私たちに出来ること～」と掲げた今回の研修会ですが、自分ならどう思うか、どうしてもらえたら相手は安心出来るだろうかと認知症の方に寄り添った関わりについて、全体的に活発な意見交換がされていました。開催エリアを絞ったことでより地域の中での意識や思いについて話すことが出来たのではないかと思います。また、多くの方の協力の元、令和元年度以降久々に完全対面での開催を行うことができました。ありがとうございました。

※①水戸市南部第一高齢者支援センターYouTube「水戸市 地域で見守り声かけ訓練」、
②島根県公式YouTube しまねっこ CH「しまねの地域包括ケア～ 認知症になっても安心して暮らせるために～」より。